



# 緊急オンラインセミナー



## 被災地の避難所の現状はいま ジェンダー視点からの報告

2024年(R6年)

1/30(火)

16:30-18:00

能登半島で起きた震度7の地震から3週間が経過しました。被災地では、現在も多くの避難者の方が避難所で生活をしており、過酷な生活環境にあることが報道等で伝えられてきています。被災地の避難所は、いま、どのような状況になっているのでしょうか。

今回、「ジェンダー視点を入れた防災教育」の取組を全国で進めてきた一般社団法人「男女共同参画地域みらいねっと」代表で、今月14日から17日まで、能登半島・穴水町の避難所に行かれ、避難所の開設支援・運営支援に携わってこられた小山内世喜子さんから、お話をうかがうと同時に、この先の支援のあり方について考える時間をもたせていただくことになりました。

みなさまと一緒に、被災地に心を寄せ、お話を伺い、考える時間をもちたいと思います。みなさまのご参加、お待ちしております。

対象・どなたでも  
(先着200名)

2024 能登半島地震 避難所運営支援 (2024. 1月14日～17日) 小山内世喜子

穴水町さわやか交流館プレート避難所



穴水町中学校避難所づくり

挨拶：齊藤 正人 レジリエント社会研究センター長  
進行：瀬山 紀子 ダイバーシティ推進センター准教授

### お話し：小山内 世喜子さん

一般社団法人「男女共同参画地域みらいねっと」代表理事

プロフィール：宮城県生まれ。青森市在住。元青森県男女共同参画センター館長。東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに、人づくり、ジェンダー視点を取り入れた防災教育、避難所運営訓練を多数実施。ジェンダー視点を取り入れた避難所運営をテーマに、第5回ジャパンSDGsアワード「特別賞」、防災教育をテーマにした活動で第一回「SDGs岩佐賞」を受賞。



### 参加方法

お申込フォームもしくは、右のQRコードからお申込みください。

<https://forms.office.com/r/HuDTHeThNj>

申込締切：1/29 13時まで（先着 200名）

お申込みいただいた方に、前日(1/29)にZoomのURLをお伝えします。



主催

埼玉大学レジリエント社会研究センター  
ダイバーシティ推進センター

お問合せ先

info-iirs@gr.saitama-u.ac.jp（埼玉大学レジリエント社会研究センター）